

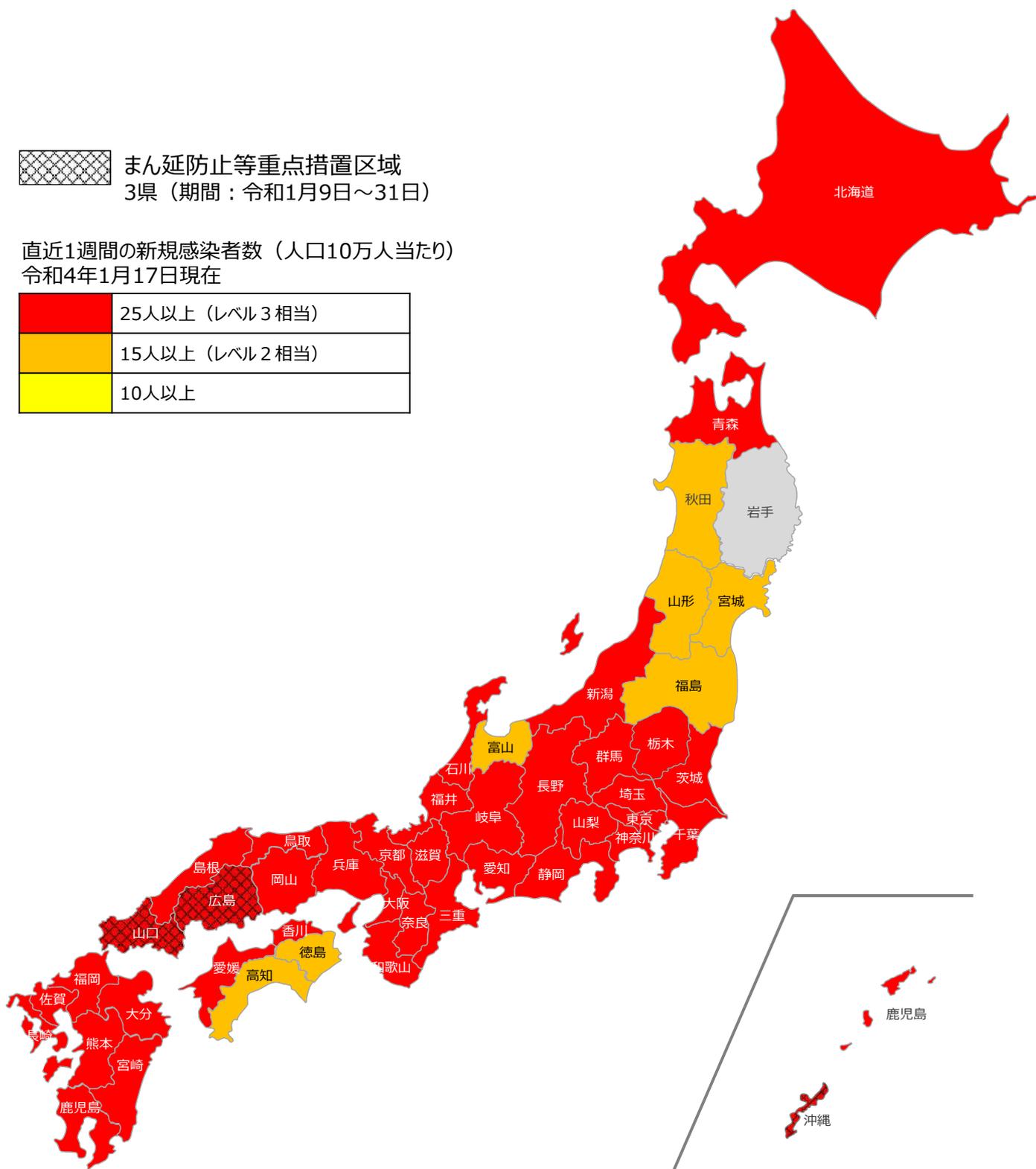
全国の感染状況

新型コロナウイルス感染症 感染拡大地域

 まん延防止等重点措置区域
3県（期間：令和1月9日～31日）

直近1週間の新規感染者数（人口10万人当たり）
令和4年1月17日現在

	25人以上（レベル3相当）
	15人以上（レベル2相当）
	10人以上



都道府県別 感染者数の状況（直近1週間）

1月17日 現在

レベル3相当(対人口10万人 25人以上)
 レベル2相当(対人口10万人 15人以上)
 対人口10万人 10人以上

順位	都道府県名	1月11日 ～ 1月17日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
1	沖縄県	9,417	641.92
2	広島県	6,206	221.64
3	大阪府	17,603	199.17
4	東京都	22,787	162.21
5	京都府	3,901	151.32
6	熊本県	2,374	136.59
7	滋賀県	1,590	112.45
8	山口県	1,482	110.43
9	佐賀県	871	107.40
10	福岡県	5,387	104.91
11	奈良県	1,269	95.85
12	兵庫県	5,147	94.18
13	和歌山県	829	89.82
14	神奈川県	8,077	87.44
15	埼玉県	6,326	86.13
16	千葉県	5,357	85.25

順位	都道府県名	1月11日 ～ 1月17日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
17	群馬県	1,592	82.10
18	愛知県	6,047	80.18
19	長崎県	1,029	78.43
20	島根県	522	77.79
21	愛媛県	1,017	76.18
22	山梨県	563	69.51
23	静岡県	2,454	67.55
24	長野県	1,378	67.29
25	岐阜県	1,300	65.69
26	岡山県	1,207	63.93
27	三重県	1,128	63.73
28	栃木県	1,226	63.42
29	宮崎県	675	63.08
30	新潟県	1,378	62.61
31	北海道	3,139	60.08
32	大分県	640	56.94

単位：人

順位	都道府県名	1月11日 ～ 1月17日 の感染者数	人口10万人 当たり感染者 数
33	鹿児島県	886	55.79
34	青森県	640	51.70
35	福井県	387	50.46
36	茨城県	1,424	49.67
37	香川県	412	43.37
38	鳥取県	202	36.53
39	石川県	397	35.04
40	徳島県	167	23.19
41	山形県	229	21.44
42	高知県	147	21.24
43	秋田県	194	20.21
44	宮城県	453	19.68
45	福島県	355	19.37
46	富山県	172	16.62
47	岩手県	96	7.93
計		130,079	

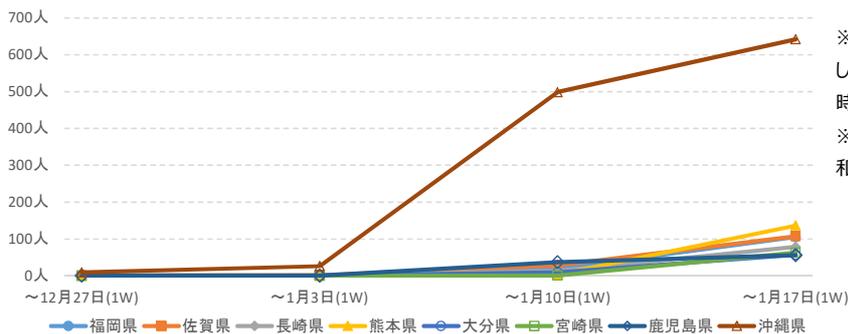
※本県以外の感染者数は厚生労働省が公表したデータから本県で算定・集計（各自治体の時点公表数等と異なる場合あり）
 人口は「令和2年国勢調査」の確定値（令和2年10月1日現在）を使用

九州各県 感染者数の状況（直近1週間）

レベル3相当(対人口10万人 25人以上)
 レベル2相当(対人口10万人 15人以上)
 対人口10万人 10人以上

単位：人

	人口	12月21日～12月27日 感染者数 対人口10万人	12月28日～1月3日 感染者数 対人口10万人	1月4日～1月10日 感染者数 対人口10万人	1月11日～1月17日 感染者数 対人口10万人
福岡県	5,135	75 1.46	56 1.09	934 18.19	5387 104.91
佐賀県	811	3 0.37	12 1.48	231 28.48	871 107.40
長崎県	1,312	4 0.30	4 0.30	172 13.11	1029 78.43
熊本県	1,738	1 0.06	1 0.06	60 3.45	2374 136.59
大分県	1,124	0 0.00	1 0.09	110 9.79	640 56.94
宮崎県	1,070	0 0.00	0 0.00	10 0.93	675 63.08
鹿児島県	1,588	8 0.50	8 0.50	590 37.15	886 55.79
沖縄県	1,467	130 8.86	383 26.11	7314 498.57	9417 641.92

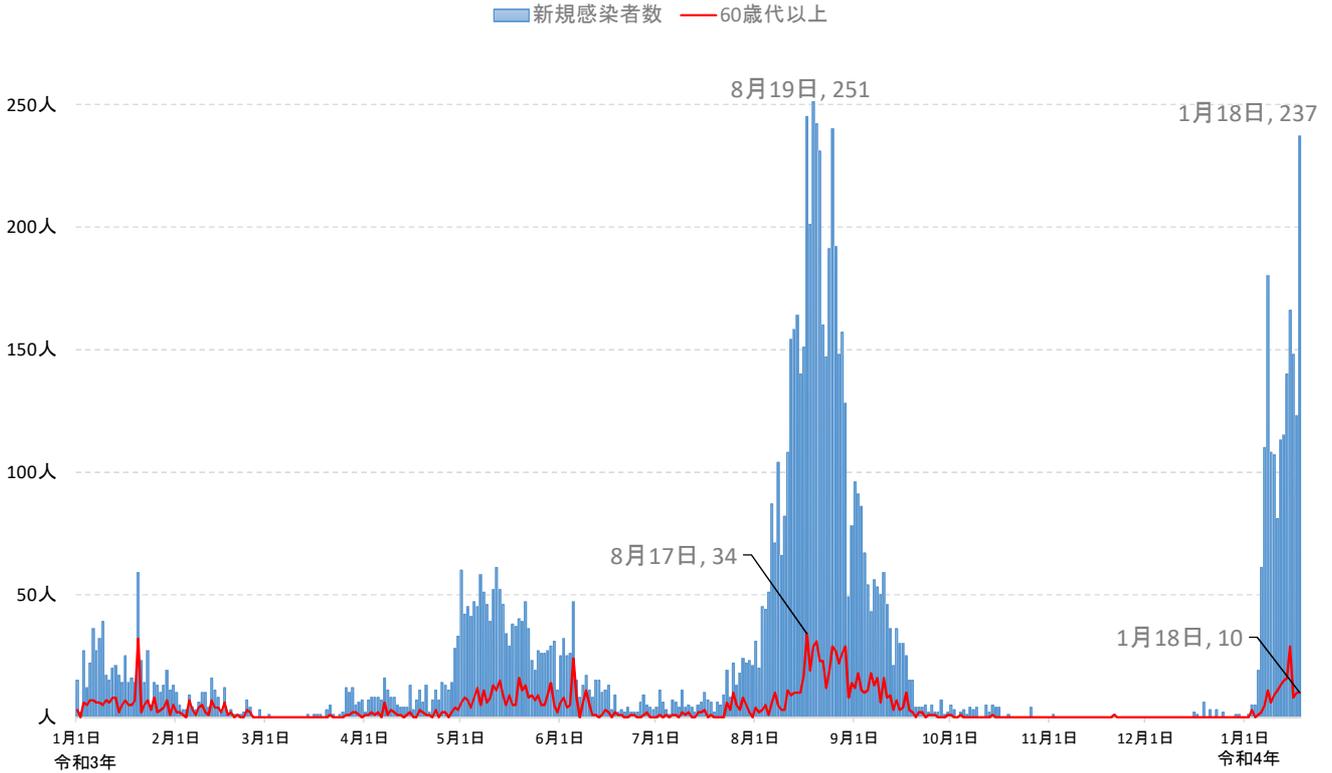


※本県以外の感染者数は厚生労働省が公表したデータから本県で算定・集計（各自治体の時点公表数等と異なる場合あり）
 ※人口は「令和2年国勢調査」の確定値（令和2年10月1日現在）を使用

県内の感染状況

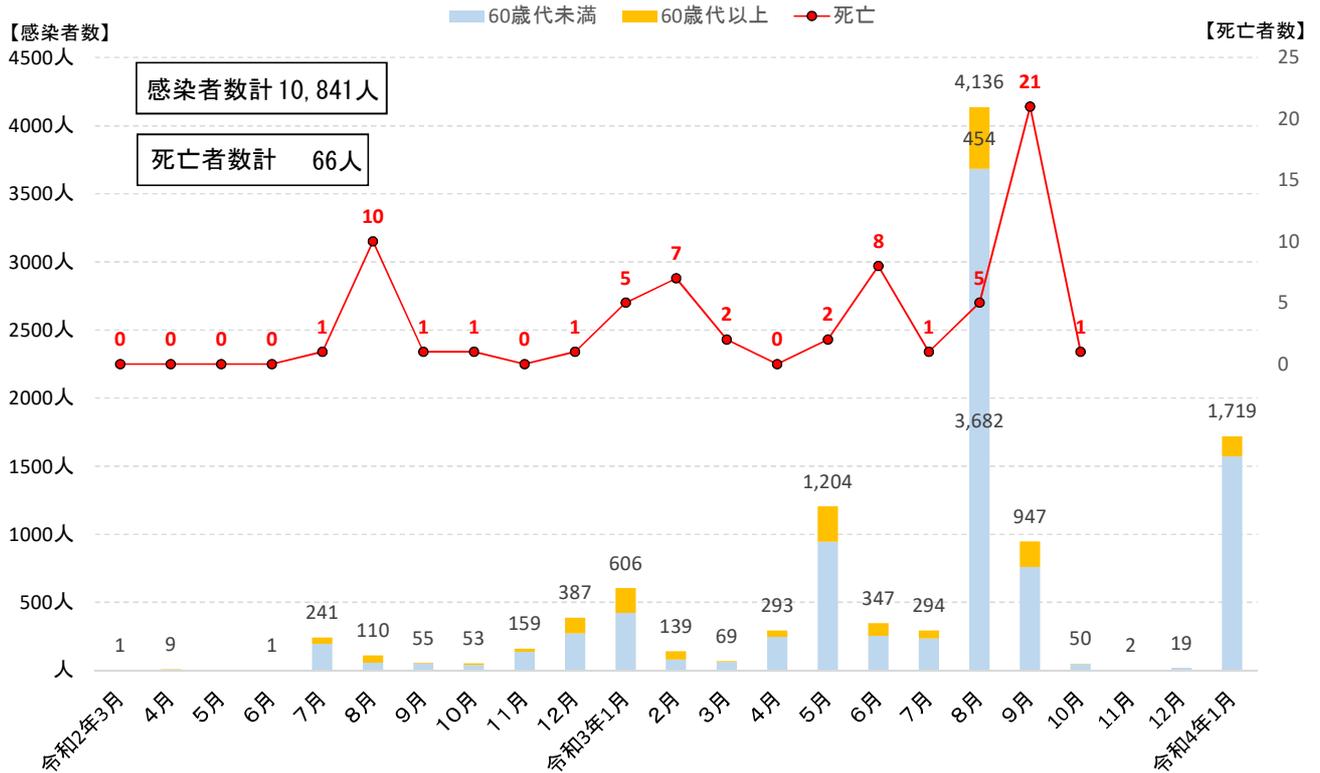
県内の感染者数の推移(令和3年1月以降)

令和4年1月18日



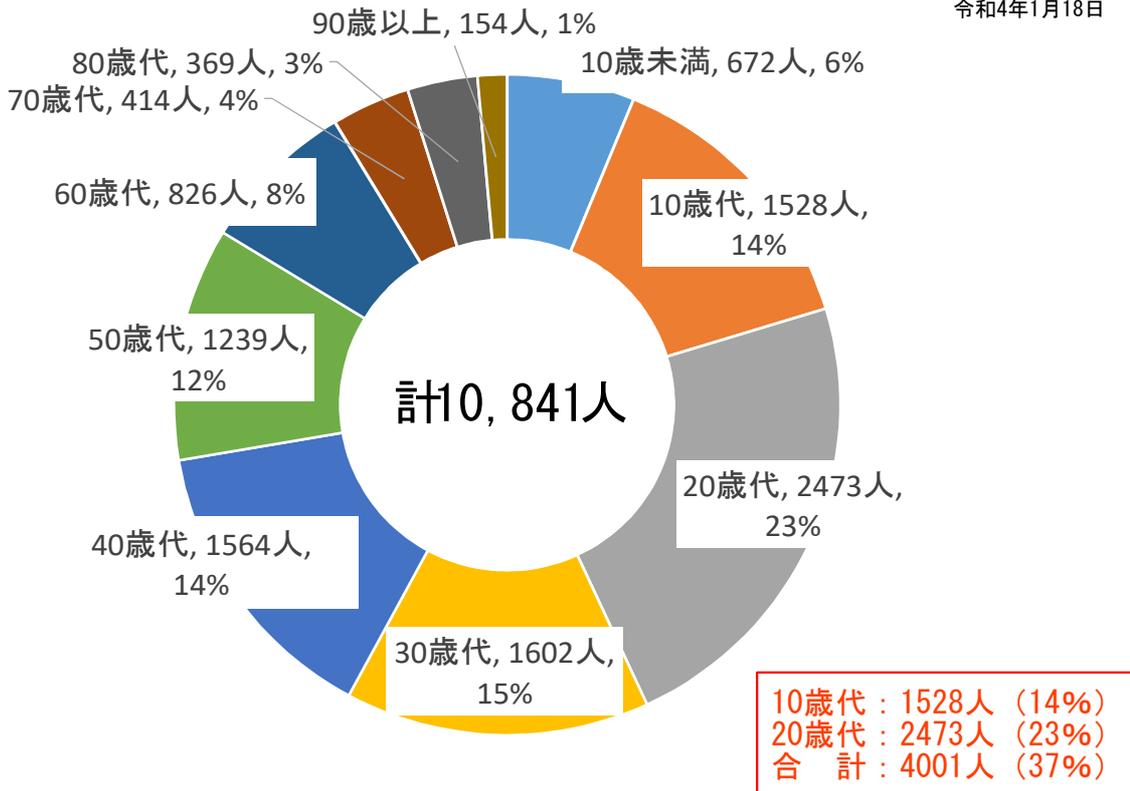
県内の感染者数の推移(月別)

令和4年1月18日

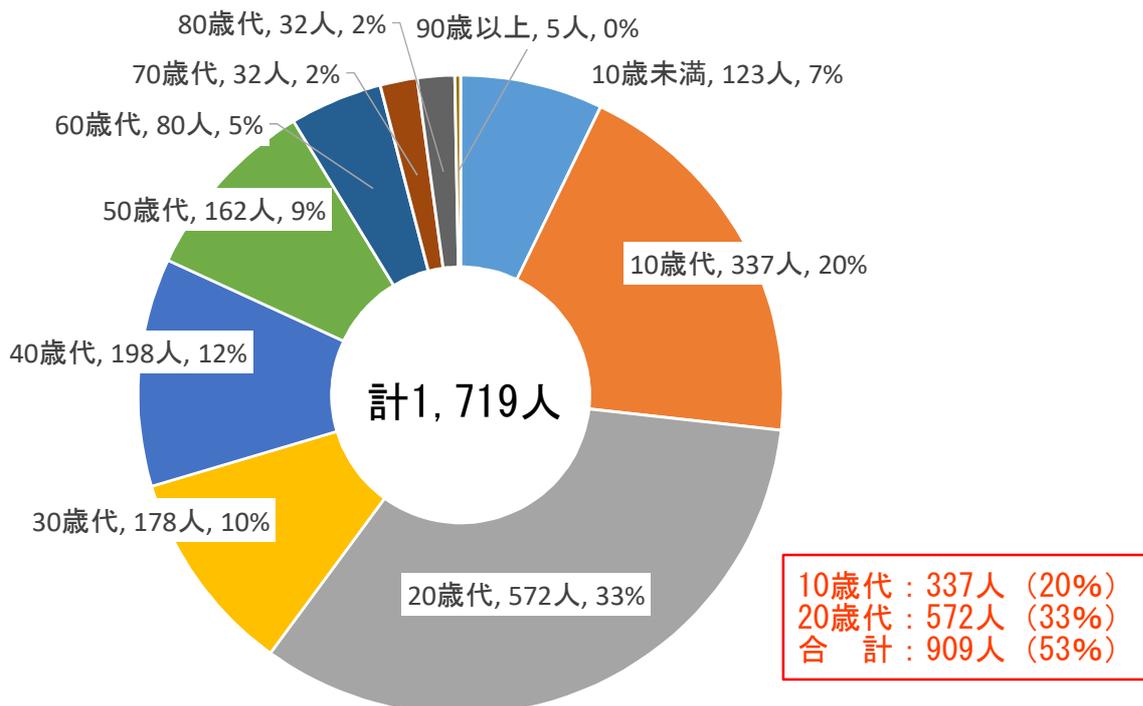


県内の感染者発生状況(年代別)

令和4年1月18日

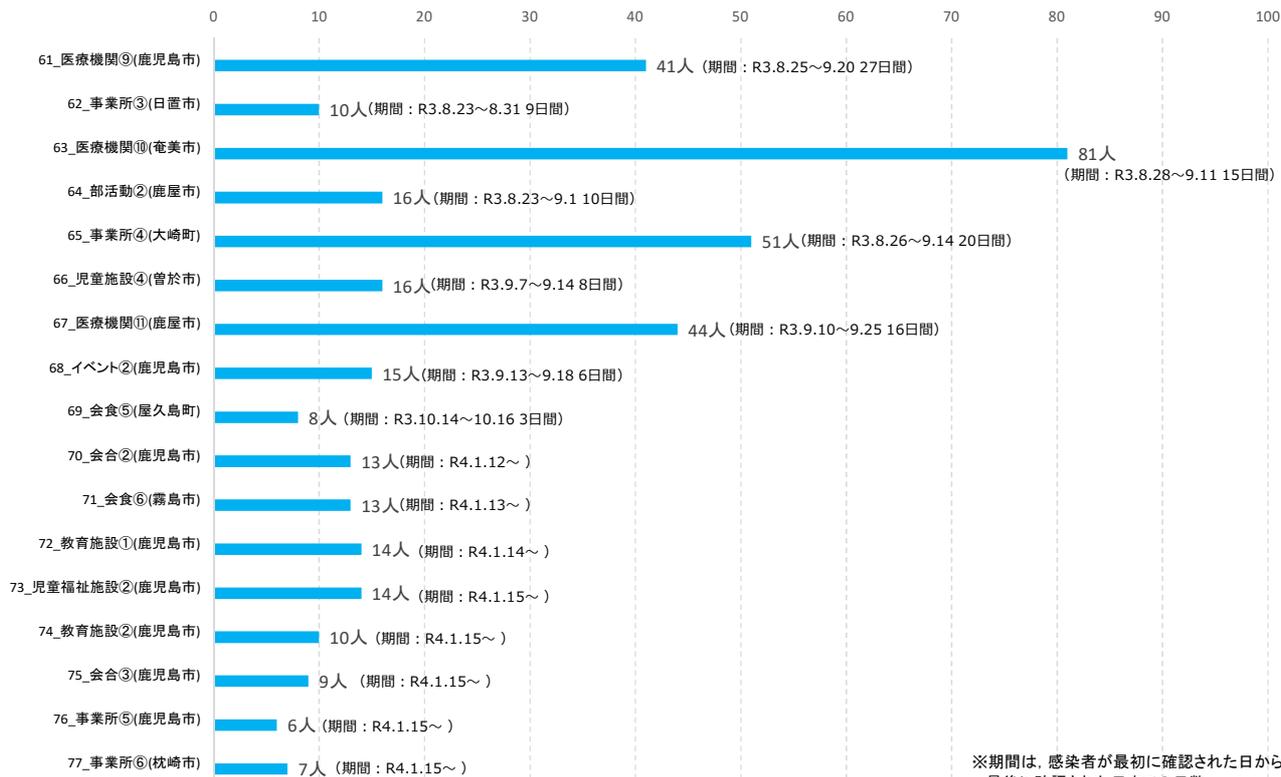


県内の感染者の発生状況(年代別)
(令和4年1月1日~18日)



県内の感染者発生状況(クラスター別※No61以降)

令和4年1月18日



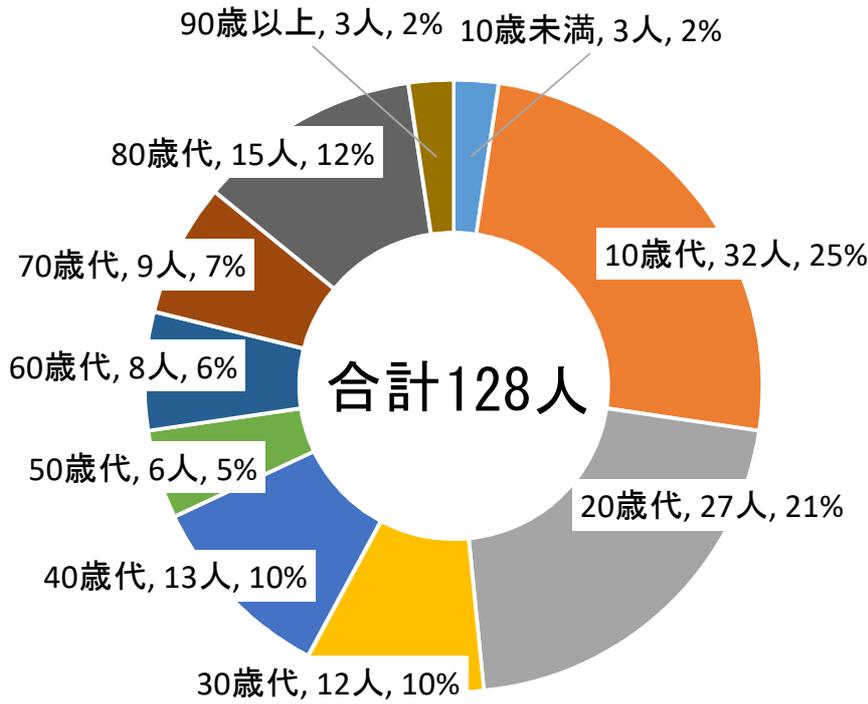
クラスター発生状況

令和4年1月18日

クラスター種別	件数	人数	割合(人数)
飲食店	9	321	15.3%
接待飲食店	12	490	23.4%
医療機関	11	440	21.0%
サークル活動等	10	227	10.8%
高齢者施設	4	109	5.2%
児童施設	4	74	3.5%
会食	6	94	4.5%
介護事業所	2	22	1.0%
宿舎	3	43	2.1%
会合	3	54	2.6%
学校	1	28	1.3%
事業所	6	114	5.4%
児童福祉施設	2	31	1.5%
介護施設	1	9	0.4%
障害者施設	1	17	0.8%
教育施設	2	24	1.1%
合計	77	2097	100.0%

病床使用者(入院患者)の年代別内訳

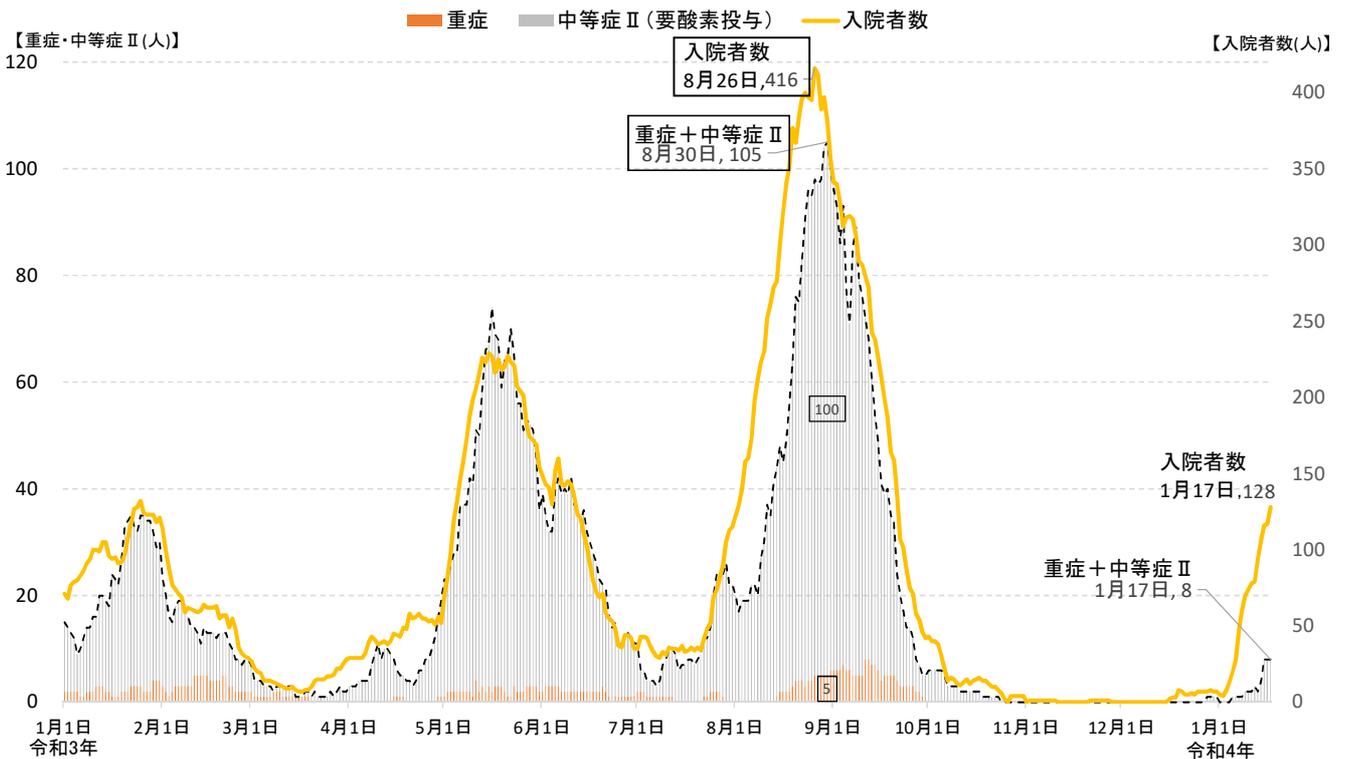
令和4年1月17日



	入院者数	割合
60歳以上	35人	27.3%
70歳以上	27人	21.1%
80歳以上	18人	14.1%

入院患者 重症度別内訳(中等症Ⅱ以上)

令和4年1月17日



鹿児島県内における変異株の状況について(1月14日時点)

1 変異株スクリーニング検査(県環境保健センター) 「6/11以降L452R対象分」

陽性判明日	①期間中の 感染者数	②変異株 検査実施数		陽性率 (③/②)
		L452R	陽性数	
6/11~17	75	86	0	0.0%
6/18~24	24	24	0	0.0%
6/25~7/1	33	24	11	45.8%
7/2~8	38	34	24	70.6%
7/9~15	37	28	20	71.4%
7/16~20	31	31	15	48.4%
7/21~29	140	105	65	61.9%
7/30~8/5	235	157	119	75.8%
8/6~12	672	255	210	82.4%
8/13~19	1311	332	311	93.7%
8/20~26	1403	489	466	95.3%
8/27~9/2	747	176	165	93.8%
9/3~9	409	165	161	97.6%
9/10~16	258	134	127	94.8%
9/17~23	72	94	94	100.0%
9/24~30	21	135	132	97.8%
10/1~7	18	177	176	99.4%
10/8~14	19	256	254	99.2%
10/15~21	9	96	92	95.8%
12/17~23	13	11	11	100.0%
12/24~30	4	6	6	100.0%
12/31~1/6	91	19	4	21.1%
合計	5,660	2,834	2,463	86.9%

※ 令和3年10月25日付の厚生労働省通知に基づき、
今後L452R変異株PCR検査は実施しない。

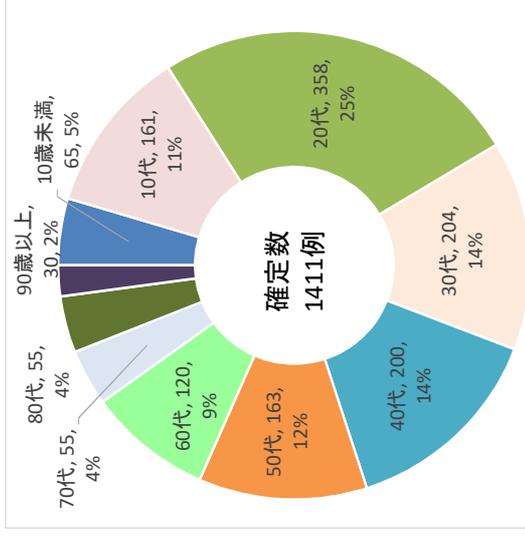
2 ゲノム解析による確定数 (国立感染症研究所, 県環境保健センター)

ゲノム 解析日	確定数 (呼称) 【最初に確 認された 国】		VOC				VOI	
	B.1.1.7 (アルファ 株) 【英国】	B.1.1.7 (ベータ株) 【南アフリ カ】	B.1.351 (ベータ株) 【南アフリ カ】	P.1 (ガンマ株) 【ブラジル】	B.1.617 (デルタ株) 【インド】	B.1.1.5 (オミクロン 株) 【南アフリ カ】	R: 1	VOI
~6/10	545	465	0	0	3			77
6/11~17	100	82	0	0	0			18
6/18~24	46	44	0	0	0			2
6/25~7/1	24	15	0	0	8			1
7/2~8	16	4	0	0	12			0
7/9~15	21	0	0	0	21			0
7/16~29	21	2	0	0	19			0
7/30~8/5	24	0	0	0	24			0
8/6~12	35	21	0	0	14			0
8/13~19	23	1	0	0	22			0
8/20~9/2	49	0	0	0	49			0
9/3~9/9	47	2	0	0	45			0
9/10~9/16	49	1	0	0	48			0
9/17~9/30	41	0	0	0	41			0
10/1~10/14	91	1	0	0	90			0
10/15~10/21	45	0	0	0	45			0
10/22~10/29	24	0	0	0	24			0
10/30~11/4	19	0	0	0	19			0
11/5~11/11	23	0	0	0	23			0
11/12~11/25	24	0	0	0	24			0
11/26~12/2	23	0	0	0	23			0
12/3~12/9	22	0	0	0	22			0
12/10~12/16	20	0	0	0	20			0
12/17~12/24	16	0	0	0	16			0
12/25~1/6	17	0	0	0	12			5
1/7~1/13	46	0	0	0	5			41
合計	1,411	638	0	0	629			98

※1 デルタ株のうち1例は、ゲノム確定はしていないが、同一
の感染経路としてデルタ株(B.1.617.2)と判断

※2 VOC: 懸念される変異株, VOI: 注目すべき変異株

3 ゲノム解析による確定数に係る年代別割合



感染拡大の警戒基準

感染拡大の警戒基準 モニタリング

レベル	1	1月17日
病床フェーズ	2	現在

		1月17日							レベル1 の指標	レベル2 の指標	レベル3 の指標	レベル4 の段階
①	予測ツール(※1)	—	—	—	—	—	—	—	—	3週間後 到達		
②	① 1 1	14.0%	13.9%	16.6%	18.9%	20.5%	20.6%	22.6%	567床 ÷ 128床	20% 以上	50% 以上	
②	① 2 2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0床 ÷ 33床	20% 以上	50% 以上	
③	療養者数 (人口10万人当たり)	42.4人	48.7人	55.4人	61.6人	62.8人	62.3人	61.4人	975人 × 100,000人 / 1,588,256人	20人 以上	30人 以上	(※2)
④	PCR陽性率 (直近1週間)	16.2%	15.4%	14.7%	13.1%	12.8%	12.9%	13.7%	1,038人 ÷ 7,578人	5% 以上	10% 以上	
⑤	新規陽性者数 (直近1週間) (人口10万人当たり)	41.93人	47.85人	51.25人	53.14人	52.26人	54.78人	55.78人	886人 × 100,000人 / 1,588,256人	0.4人 以上	15人 以上	25人 以上
⑥	感染経路不明者数の割合 (直近1週間)	21.9%	22.2%	21.3%	20.1%	20.2%	20.3%	22.8%	202人 ÷ 886人	—	50% 以上	

増加	886人	—	590人	=	296人
増加	1.50	—	1.50	=	1.50

増加	81人	113人	140人	166人	148人
----	-----	------	------	------	------

※1 「予測ツール」により算出した「酸素投与を要する人数（重症者を含む）の予測値」を基に「3週間後の必要病床数」を推計
 ※2 レベル4の段階は次のとおり
 ・ 一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない
 ・ 緊急対応病床数を超えた数の入院が必要

* 人口は「令和2年国勢調査」の確定値（令和2年10月1日現在）を使用

* 病床数、病床フェーズは、鹿児島県病床確保計画を使用

鹿児島県における感染拡大の警戒基準

令和2年8月25日（令和3年11月25日変更）
新型コロナウイルス感染症対策室

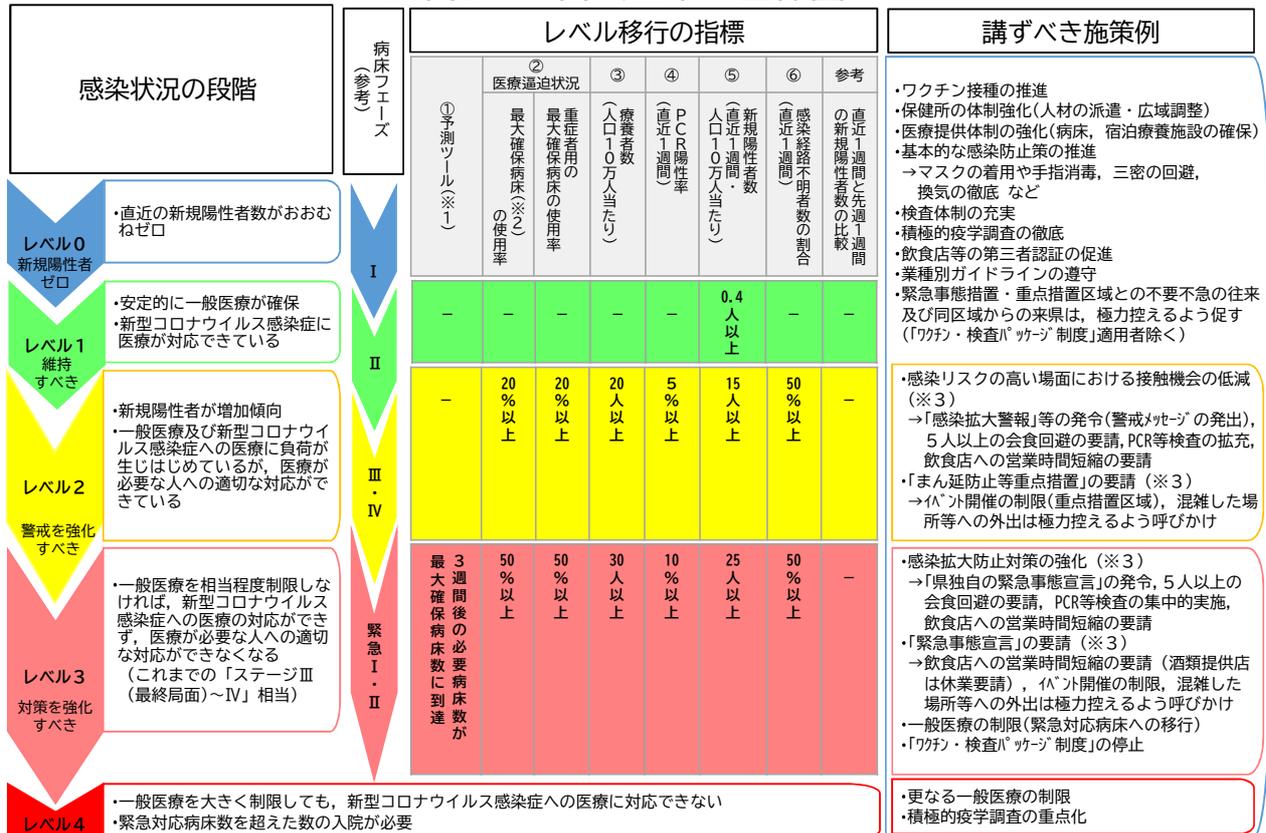
1 趣旨

- 新型コロナウイルス感染症対策については、医療・公衆衛生において、①十分に制御可能なレベルに感染を抑制し、死亡者・重症者数を最小化する、②感染レベルをなるべく早期に減少に転じさせる、ことに取り組んだ上で、経済との両立を図ることが重要である。
- このため、感染状況等を継続的に監視し、その変化が見られた場合、県民に対して適切に情報提供を行い、感染拡大への警戒を呼びかけるとともに、感染状況の変化等に応じて、感染リスクの高い場面における接触機会の低減や感染拡大防止対策の強化を検討するなど、県民に対して「本県の感染状況や対策等の見える化」（警戒基準の設定）を図るものである。

2 警戒基準

- 感染及び医療提供体制の状況に応じて、レベル0から4を設定。
- レベルの判断に当たっては、最大確保病床使用率等の医療逼迫状況の指標を重視した上で、「人口10万人当たり直近1週間の新規陽性者数」等の指標や重症者及び中等症Ⅱ者の数なども考慮し、専門家の意見も踏まえ、特に社会的な基盤である医療提供体制を確保する点を重視して、総合的に判断する。
- 各レベルにおいて取り組むべき施策については、医療提供体制の強化や基本的な感染防止策の推進、感染拡大傾向時等におけるPCR等検査の拡充や営業時間短縮の要請など、専門家の意見も踏まえ、総合的に判断する。
- 特に、本県は多くの有人離島を有しており、離島においては医療提供体制が脆弱であることから、レベルに関係なく、必要な対策を早期に実施するなど、離島の特殊性を踏まえて、総合的に判断する。

感染拡大の警戒基準 全体図



※1 「予測ツール」により算出した「酸素投与を要する人数(重症者を含む)の予測値」を基に「3週間後の必要病床数」を推計
 ※2 「最大確保病床」とは、県病床確保計画におけるフェーズⅣの病床数
 ※3 「ワクチン・検査パッケージ制度」の適用により行動制限が緩和される場合あり

ワクチン

ワクチン接種について

1 ワクチン接種実績

全人口に対する1回目接種率79.13%、2回目接種率が78.50%、3回目接種率が1.42% (1月18日公表時点)

	総接種回数	内1回目接種数	内2回目接種数	内3回目接種数	1回目接種率	2回目接種率	3回目接種率
本県	2,572,833	1,279,992	1,269,828	23,013	79.13%	78.50%	1.42%
全国	201,786,647	101,224,065	99,572,488	1,483,536	79.93%	78.62%	1.17%

注:接種率の計算に用いる人口データは令和3年1月1日現在の住民基本台帳に基づくもの

2 ワクチン追加接種(3回目接種)

- ・追加接種については、接種を希望する全ての方が追加接種を受けられるよう体制を確保する。
初回接種完了からの間隔については、
 - ①医療従事者等並びに高齢者施設等の入所者及び従事者は6か月以上
 - ②一般高齢者は2月は7か月以上、3月以降は6か月以上
 - ③一般(64歳以下)及び職域接種は2月は8か月以上、3月以降は7か月以上となっている。なお、②については①の完了が見込まれた段階で、③については①・②の完了が見込まれた段階で前倒しが可能。
- ・追加接種に使用するワクチンについては、1回目・2回目に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを用いることが適当。
- ・医療従事者や高齢者等を対象に12月から接種が開始した。
- ・12～3月接種及び4月接種分の一部に使用するワクチンについては、3月までに約100万人分のワクチンが配送される予定。

3 アストラゼネカ社ワクチン接種の実施

ポリエチレングリコールに対するアレルギー等によりmRNAワクチン(ファイザー社、モデルナ社)を接種できない方などを対象にアストラゼネカ社ワクチンの接種会場を設置する。

- (1) 接種場所
鹿児島市立病院
- (2) 接種日時
第1次接種：10月2日、11月27日
第2次接種：11月27日、1月22日
※ワクチンの最大の効果を得るため、1回目接種から2回目接種までの接種間隔は、8週間とする。
- (3) 対象者
接種券をお持ちの鹿児島県在住者で以下の要件に該当する方
 - ① ポリエチレングリコールに対するアレルギー等でmRNAワクチンを接種できない18歳以上の方
 - ② 海外でアストラゼネカ社ワクチンを1回接種済みの18歳以上の方
 - ③ 40歳以上の方で、他の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けておらず、アストラゼネカ社のワクチン接種を希望する方